

上場会社 大同メタル工業株式会社
 代表者 代表取締役会長兼最高経営責任者 判治 誠吾
 (コード番号 7245)
 問い合わせ先責任者 上席執行役員総務センターチーフ 玉谷 昌明
 (TEL 052-205-1401)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 7 日に公表しました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想値と本日公表の同累計期間実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の連結業績予想値及び個別業績予想値につきましても修正しましたので、お知らせします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	△1,450	△1,970	△1,930	△48.43
実績値(B)	23,743	△1,430	△1,935	△2,274	△57.07
差額(B-A)	943	20	35	△344	—
差額率(%)	4.1	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	35,911	564	170	△407	△9.08

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	△430	△670	△1,210	△30.36
実績値(B)	18,655	△416	△726	△2,508	△62.94
差額(B-A)	855	14	△56	△1,298	—
差額率(%)	4.8	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	28,930	1,638	1,680	△114	△2.55

(差異の理由)

1. 連結

(1) 2009 年 8 月 7 日付けにて業績予想の修正を致しておりますが、その修正後の数値に対する売上高、営業損失及び経常損失の差異は主に個別業績の影響によるものであります。

(2) 当期純損失は、特別損失において昨年 3 月に閉鎖しました旧東京工場建屋の固定資産減損などを計上したことによるものです。

2. 個別

(1) 個別業績につきましても、連結同様に 2009 年 8 月 7 日付けにて業績予想の修正を致しております。修正後の数値に対しまして、売上高は自動車関連分野において自動車購入促進のための政府支援策の効果もあって 4.8%の増収となりました。

(2) 利益面におきましては、増収効果があったものの、反面、原材料は生産減少による保有在庫の影響も加わり、材料費の上昇要因となって、営業損失はほぼ業績予想どおりとなりました。

(3) 経常損失は、営業外損益において為替差損が生じたことなどから、わずかながら下振れする結果となりました。

(4) 当期純損失は、経常損失の減益に加え国内子会社の株式評価損(1,324 百万円)及び大同メタルベルフオンテン LLC に対する貸倒引当金(277 百万円)等を特別損失に計上したことで、業績予想を大きく下回る結果となりました。

なお、株式評価損及び貸倒引当金につきましては、連結業績への直接的な影響はございません。

2. 平成22年3月期通期業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,600	△900	△2,100	△2,050	△51.44
今回発表予想(B)	48,000	△1,650	△2,800	△3,350	△84.06
差額(B-A)	△2,600	△750	△700	△1,300	—
差額率(%)	△5.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	60,572	△380	△1,963	△4,764	△109.23

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	950	360	△950	△23.83
今回発表予想(B)	37,500	△350	△950	△3,000	△75.28
差額(B-A)	△3,500	△1,300	△1,310	△2,050	—
差額率(%)	△8.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	52,268	1,845	1,682	△4,182	△95.88

(修正の理由)

1. 連結

- (1) 通期業績予想は、連結及び個別とも先行き不透明な状況にあったことから、2009年5月15日付けにて公表しました業績予想を据え置いてまいりましたが、第2四半期累計業績の結果と直近の動向を踏まえ、業績予想の修正を行いました。
- (2) 2009年5月15日付け公表の当初業績予想に対しまして、売上高は個別における造船及び建設機械の落ち込みによる影響が主な要因であります。連結子会社にあつては、地域格差は若干あるものの総じて当初予想どおりの見込みであります。
- (3) 利益面におきましても、個別の減収が損失拡大の主な要因であります。反面、連結子会社は当初予想に対して全体的に利益改善の方向にあり、そのプラス要因を加味した業績予想の修正となっております。

2. 個別

- (1) 2009年5月15日付け公表の当初業績予想に対しまして、売上高は造船及び建設機械分野が低調であることから、8.5%の減収を予想しております。
- (2) 利益面におきましては、減収による影響に加え原材料価格も当初予想に比して上昇が予想され、利益圧迫要因となっております。
- (3) 一方、サバイバルプランを大同グループあげて多方面より推進しておりますが、人件費、経費、それに設備投資抑制による減価償却費の費用削減も重要テーマとして取り組んでおり、その効果が顕著に現れ減収による利益減少を補填したうえでの営業損失及び経常損失を見込んでおります。
- (4) 当期純損失は、経常損失の減益に加え、2009年12月末に清算予定の米国子会社である大同メタルベルフォンテンLLC及び大同メタルアメリカCORP.の特別損失予定額の大幅な減少が見込まれますが、第2四半期累計(中間期)で計上しました国内子会社の株式評価損(連結決算には直接的な影響はございません)を計上したことが主な要因であります。

以 上

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報による判断に基づき作成したものであり、実際の業績はこれらの予想と異なる場合がありますことをご承知置き願います。